

<わき目もふらず>

ヘブル 12 : 1 ~ 3

- ◆ 人は目が向く方に体が向く。心の目はどこを見ている？

あなたの宝のある所にあなたの心もあるからです。マタイ 6 : 21
時間やお金の使い方で心がどこにあるか見えてくる。

イエスから 目を離さないで！！

fixing our eyes on Jesus.

他のものに目を奪われやすい。目を奪うものがたくさんある。
自分の欲を満たすもの / 世の心遣い / 富のまどわし / 試練 etc

クリスチャンの目を奪うために、常套手段として用いられるのは
自分に目を向けるように仕向けること。

- ◆ 「告発者」であるサタンは上手に攻め立てて、イエス様に心のハンドルを譲ったのに、もう一度自分でハンドルを握るように仕向けてくる。

いっさいの重荷とまわりつく罪を捨てて、私たちの前に置かれている競争を忍耐をもって
走り続けようではありませんか。【1 節】

- ① 競技を行うものはそのために身を整えなければならない。
- ② 競技者は観衆を意識しすぎると過度な緊張が生じて支障が出るので、常にどこか一点に集中する必要がある。

信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。【2 節】

創始者・・・「先導者」パイオニア

イエス様は信仰の道を走り、死に至るまで従順を貫き、
勝利を得られた先導者。

完成者・・・イエス様は十字架の試練をも忍び、みごと完走し、救いの道
そのものとなられた。

イエスはご自分の前に置かれた喜びゆえにはずかしめをもとせず十字架を忍び、神の御座に着座されました。あなたがたは、罪人たちのこのような反抗を忍ばれた方のことを考えなさい。それは、あなたがたの心が元気を失い、疲れ果ててしまわないためです。【2節】

元気を失い、疲れ果ててしまう要因は何？
イエス様の喜びとは何？

◆「信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい」というのは、十字架の道をまっすぐ進んでいかれたイエス様に、私たちの思いを繰り返し向ける事につながる。